



東京むかでワイズメンズクラブ

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-MUKADÉ “CENTIPEDE”

Office : Tokyo YMCA Toyochō Center
2-2-20 Toyo, Koto-ku, Tokyo, Japan

〒135-0016 東京都江東区東陽2-2-20
東京YMCA東陽町センター内
TEL 03-3615-5565

2023年7月 ~ 2024年6月

- 国際会長主題 「輝かそう、あなたの光を」
- アジア会長主題 「変革のための光となろう」
- 東日本区理事主題 「未来のために今、学びと気づきを！
未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」
- 東新部部長主題 「ALL 東新部、継続・発展！」

書記 長谷川正雄
会計 福島和州太郎
担当主事 本多 良章

会長 神保伊和雄
副会長 城井 廣邦
直前会長 今井 武彦

2024年6月本例会（748回）

（ 強調月間：YMCAサポート、評価／次年度計画 ）

今月の聖句

あなたがたは世の光である。
(マタイによる福音書 5-14)
You are like light for the whole world.
(Matthew 5-14)

能登半島地震の

甚大な被害を忘れない！！

私共に出来る、息の永い支援を続けよう。

6月本例会

日時 2024年6月18日（火） 18:00~20:00
場所 東京YMCA東陽町センター
会費 ビジター 1,500円、メンバー 1,500円
※ご欠席の方は 6/11 までに福島迄ご連絡ください

6月本例会プログラム

受付・司会 長谷川正雄
開会点鐘 会長 神保伊和雄
ワイズソング 一同
ゲスト・ビジター紹介 司会
今月の聖句・感謝 堀口 廣司
楽しい食事
「今期の反省と次期に向けて」 メンバー一同
強調月間アピール 神保伊和雄
ハッピーバースデー・結婚記念日 司会
スマイル 長谷川正雄
諸報告
閉会挨拶 伊丹 一之
閉会点鐘 会長 神保伊和雄

6月強調月間 YMCAサポート 評価/次年度計画

ワイズの活動も、立案、準備、評価、引継ぎが繰返されていきます。この一年を振り返り、評価を適切に行い、次年度に引き継ぐことが必要です。

野尻学荘、シニアY・Y・Yキャンプ、W4W、子ども食堂など、東京むかでの次年度もより良い年になるよう、みんなの知恵と力を結集しましょう。（神保 記）

HAPPY BIRTHDAY

21日 櫻井浩行 29日 城井姚子・福島咲野
結婚記念日おめでとう
該当者なし

2024年5月の記録

会員出席状況		メーキャップ記録		スマイル	
正会員	8名	出席(メネット)	0名	BFポイント	現金累計 円
功労会員	1名	出席(コメント)	0名		切手累計
在籍者数	9名	出席(ゲスト)	1名		
出席(正会員)	8名	出席(ビジター)	0名	リングブル	累計 137.0kg
出席(功労会員)	0名	例会出席総数	9名	5月出席率	100%
				むかで基金	今月分 9,000円

みずほ銀行 亀戸支店（普通）3013071 東京むかでワイズメンズクラブ

会費振込先

5 月 本 例 会 報 告

5月本例会は21日(火)18:00より、東京YMCA東陽町センターYMCAホールに於いてZoom併用で行われました。諸事情で少し遅れて今井武彦君の司会で開会。

神保伊和雄会長による開会点鐘、ワイズソングと続き、この日の卓話者、古庄信氏が神保会長より紹介されました。古庄氏は、神保会長と同じ教会で同席の方です。

聖句・食前の感謝は今井君が述べ、併せて、5月10日むかでクラブチャーター63回目の記念本例会を、ワインでお祝いしました。

古庄信氏は現在、目白の学習院大学の一角にある学習院女子大学教授で、大学では英語学を専門とされ、卓話のタイトル「シェイクスピアは三度がお好き?!」は、ご自身著作の出版物名からです。配布されたレジュメには、没後400年の偉大な作家への想いが綴られています。



【シェイクスピアについて熱く語る古庄信氏】

冒頭、目を閉じてお聞きくださいと、ご自身がハムレット3幕の名セリフ To be, or not to be・・・で始まる32行の英文を朗読され、その骨太で朗々としたリズムに、一同教室で、イギリス初期近代英語の授業の場に居るような想いでお聞きしました。同文章の右には、シェイクスピア研究の権威、河合洋一郎氏の翻訳文が並び、名セリフの翻訳文との比較、解説等が続きました。

卓話は本題のハムレットにおける三度のくり返しに及びます。

1幕1場、2幕1場、2幕2場、3幕1場、5幕2場、それぞれのセリフに秘められた「三度のくり返し」、3つの関連語、定冠句、さらに不定詞句の3回のくり返し、三度の反復などなどを取り上げられました。

そのリズムは人間のあらゆる感情を、生き生き表現するシェイクスピアの手法と考えられるでしょう。冒頭にご披露された英語学者・古庄教授の朗読は、そのリズムを私共に汲み取って欲しいとの強い想いからだったのではないのでしょうか。

シェイクスピア全戯曲37作を完全翻訳された日本人は坪内逍遙氏、小田島雄志氏、松岡和子氏の三人の方々

です。名セリフ To be, or not to be・・・を小田島氏は「このままでいいの、いけないの?!」と訳され、河合氏は「生きるべきか、死ぬべきか」とされました。28年間もかけ、完全翻訳を完成された松岡氏は、どのように表現されたのでしょうか。私共への宿題の様です。改めて英語学ご専門の古庄教授の朗読と、ご自身の出版物を通し、偉大な劇作家のリズムを理解したいものです。

例会は伊丹一之君による強調月間の説明に移り、ハッピーバースデーでは城井廣邦君、更に結婚記念日では城井君、伊丹君がお祝いを受けました。今井君のスマイルに続き、久方2025年5月に予定の「シニアY・Y・Yキャンプ」計画案が城井君から発表されました。

長谷川正雄君が閉会の挨拶を延べ、神保会長の閉会点鐘で5月本例会を閉じました。(長谷川 記)

出席者：神保、伊丹、今井、城井、長谷川、福島、堀口、本多

ゲスト：古庄信(卓話者)

Zoom参加：高津達夫(休会) (敬称略)

東 新 部 5 月 会 長 会 報 告

5月の会長会は5月15日(水)19時より、グーグルミートを使ったオンラインで、14名が出席して開催されました。主な協議は次の通り。

1. 十勝東日本区大会に、クラブバナーと東新部バナーを5月末までに送る。
2. 5月25日(土)18時より、LT主催の部役員引継ぎ会をWEBで開催、部の表彰を決める。
3. 東京センテナリアルクラブでは、6月末で田附会長が退会すると会員が2名になる。7月から担当主事として李さんが加わる。
4. 来季の部報1号の原稿依頼が、伊藤次期部書記から出ている。
5. 東京多摩スマイルクラブの為我井さんから、BF代表へのエントリーが出された。
6. 部大会実行委員会からの報告
10月5日(土)東陽町センターにおいて開催。「エンディングノート」を取り上げる。第1報のチラシを作って、十勝区大会で配布する。
7. Y友広場の活動予定
 - ・ワイワイ飯盒炊飯:5月23日(木)11~15時
多摩市大谷戸キャンプ練習場
 - ・ワイワイ歌声広場:6月9日(日)14~16時半
東京YMCA東陽町センター・ホール (伊丹 記)

能登半島地震 輪島避難所支援

東京YMCAが輪島市町野町避難所への支援(1月24日から3月31日までの9週間)を続けてきました。4月から

は富山YMCAを中心とした全国YMCAによる支援体制が組まれました。

神戸YMCAから神戸ポートクラブへ声が掛かり、DBCトライアングルの三クラブ、石巻広域クラブ・東京むかでクラブに声が掛かってきました。



【DBCトライアングルから支援に駆け付けた面々】

3.11 東日本大震災の追悼プログラムが開催された石巻で、三クラブ合同のプログラムが能登半島地震、現地避難所支援企画がなされました。三クラブの予定では、黄金週間の5月1日から4日までのど真ん中、神戸からは山田号・大野号で5名、石巻からはワゴン車1台で5名、東京からは新幹線・福島号2名総勢12名の部隊です。

それぞれの活動内容をご報告いたします。

炊き出し隊

(餅つき: 大野勉 C.・ワイワイ喫茶: 山田滋己 C.)

町野地区東陽中学校避難所にて朝早くから準備開始、11時頃、第一回の臼(うす)つき始め。つくのも、丸めるのも、地元の方と一緒に行いました。【むかで老若餅つき】



思いが伝わってきました。つき上げたお餅は一臼(うす)

モチを口にし、コーヒーを喫しながら、お話を聞くこともできました。「正月は、もちを食べられなかったなあ」とおっしゃる避難している方々の言葉に、あの日の

で約90個、四臼で約360個。一人3個づつ、100人以上の方に召し上がって頂き、無事、初日が終了しました。

二日目は仮設住宅内集会所に場所を変え行いました。餅つきという日本古来からの楽しみを、被災地の方々と、私達支援に来た者と共に作業が出来たことに、感謝しました。お手伝い頂いた90歳の男性が杵を振り下ろしながら、「生きてきて、またモチがつけて良かった」と、しみじみと語ってくれました。

別働隊(避難所運営・支援物資配布・衛生管理)

川上直哉牧師・李裕弦君の2名で、避難所の運営サポートとも専属で行いました。物資の管理、配布、衛生管理(トイレ掃除を含む)、縁の下の力持ちの作業でした。ありがとうございました。お二人に感謝です。

避難所の東陽中学校家庭科室での私たちの生活4日間は、和気藹々と過ごす事が出来ました。

仲間達が準備してくれた美味の豪華な焼き肉パーティ、レトルト食品(朝からカレー、朝からラーメンなど)のありがたさを毎日たっぷり味わいました。又、避難所への差し入れ食事も味わいました。調理台脇の床に、直に寝袋で寝るという体験、更に避難所から車で10分ほどの場所にある陸上自衛隊の特設入浴施設には感激しました。避難者だけではなく、ボランティアの方々も利用でき、足を伸ばし肩までたっぷり浸かれるのは予定外、想像もしていなかったおもてなしでした。

広い室内で何処からか、賑やかないびきを子守唄に、お休みなさいと翌朝の健康を祈り、夢路をたどりました。

(神保 記)

会長通信

地震の震えがまた6月にも能登半島を襲った。

輪島市町野町避難所の方々はどうなさっているか気になりました。かけがえのない日常が皆様に与えられますよう祈ります。元気で無事にいられる幸せを感謝して毎日過ごしています。

いよいよ6月、新しい年度を迎える準備、下田会議で今年の振り返りと、次年度への皆さんの抱負を承れるのを楽しみにしています。

来る年もよろしく願いいたします。

ワイズ以外にも課題がたくさん。

共に歩みをそろえて頑張りましょう！ (神保 記)

< 6月の予定 >

4日(火) 東京多摩スマイル・6月本例会

10日(月) 東京町田コスモス・6月本例会

11日(火) 東京・6月本例会

18日(火) 東京むかで・6月本例会

21日(金) 東京世田谷・6月本例会(最終例会)

25日(火) 東京むかで下田会議・第二例会(18:00～)

東京センテニアルYサービスクラブ・例会日未定

< 7月以降の予定 >

16日(火) 東京むかで・7月本例会

23日(火) 東京むかで第二例会

5月第二例会報告

5月第二例会は28日(火)午後6時よりZoomで開催、主な協議、確認事項は以下の通りです。

1. ブリテン6月号の発行

- ・編集担当 長谷川正雄
- ・7月号担当者(次年度下田会議による) 伊丹一之?
- ・主な原稿(固定原稿以外)

5月会長会報告 伊丹一之

能登半島地震支援活動報告 神保伊和雄

- ・原稿締め切り 6月4日(火)

- ・印刷会 6月18日(火)16:30～東陽町センター

2. 6月本例会について

- ・「今期の反省と次期に向けて」 メンバー一同

3. その他 検討、報告事項など

- ・下田会議、第二例会(2024年～2025年度の検討)

6月25日(火)18:00～ 東陽町センター

資料作成 伊丹一之

- ・在京クラブ会長会運営費 3,000円 承認
- ・3クラブによる能登半島地震支援活動むかで負担金 8,000円 承認

- ・櫻井浩行君の転出に関して。「会員移動報告書」の部長、部会員事業主査への提出。 伊丹一之

- ・東日本区役員会からの報告 今井武彦
東京世田谷クラブ、茨城クラブ、東京ベイサイドクラブの解散が区役員会で報告、承認。

- ・野尻ファミリーキャンプは、野尻学荘の態勢を受け、本多主事、神保会長で協議、決定。メンバーに案内する。

- ・神保会長の予定:8月1日～11日 韓国YMCA訪問。

出席者:神保、今井、長谷川、堀口、本多

(長谷川 記)

東京 Y M C A ニュース

▼【感謝報告】第21回東京YMCA会員大会

5月25日に東京YMCA会員大会が開催され、山手センターに84名が集い、7人がオンライン配信を視聴しました。

菅谷淳総主事による東京YMCAの活動報告や、東陽町センターの「下町こどもダイニング」のボランティアの皆さんに「Volunteer of the year」の感謝状の贈呈、特に活

躍した4名のユースリーダーが「Youth Volunteer of the year」として表彰を行いました。

他にも中里敦氏より、東京YMCAが行った輪島市町野町の避難所運営支援について報告がありました。

山中湖センター100周年の感謝報告に合わせ、レクリエーションやキャンプソングを楽しみました。会場では、能登半島地震被災者支援のための物産販売とオークションも行い、オークション、物産販売、募金、合わせて126,910円が寄せられました。(本多 記)

5月会計報告・リングブル報告

1 月間収入・支出合計 期間 5/1～5/31

口座名	月間収入額	月間支出額
経常部	10,500円	25,352円
活動基金部	9,000円	8,000円

■月次収支合計 : 9,000円

■現預金残高(現在): 386,424円

(収支の主な内訳)

・経常収入: 例会参加費 10,500円

・活動基金収入: スマイル 9,000円

・経常支出: 例会食事代 11,862円

講師謝礼 10,000円

在京会長会 3,000円

能登半島支援 8,000円 (福島 記)

2 プルタブ5月預かり分

渋谷裕子様から50.0kgが、郡山借子様から2.0kgが届けられました。

東京むかでとともに車椅子ゲットに力を合わせましょう! ご協力感謝いたします。(愛尽慕 記)

編集後記

今期のブリテン最終号をお届けします。

入会した頃、ブリテンは手書き原稿をレイアウト、自ら挿絵を描き、印刷所に持ち込んでいました。

大先輩の櫻内邸で例会が開かれ、その号のブリテン担当を、入会間もない私が仰せつかりました。

「抑えられたアプローチから、玄関、居間へ展開、床から緑の芝生に流れる穏やかさ」は、住まい手のご家族そのものでした。設計者は大学の建築学科教授で、ある場でご一緒していた方です。懐の広い人柄の設計者とクライアントの出会いを大変嬉しく思うと共に、様々な豊かさ、人との出会いの重さを実感したものでした。

40年も前の話を思い出し乍ら、編集後記を書いています。

お互いの出会いに感謝の想いを強くする昨今です。

感謝!!! (長谷川 記)